

沙也可と沈寿官

和 泉 清

今を去る425年前の朝鮮半島。豊臣秀吉による侵略戦争「文禄の役」でこの沙也可は、大義名分のない戦争を嫌い、部下をとらな戦も交えずに投降した。沙也可は友鹿洞（大韓民国慶尚北道）に土地をもらい金忠善と名のり、地方長官の娘と結婚し鉄砲の製法を伝えたという。

沙也可一族には、代々の血筋を詳細に記した家系図「族譜」と、沙也可の号を冠した「慕慕等文集」が残っている。日本の支配時代

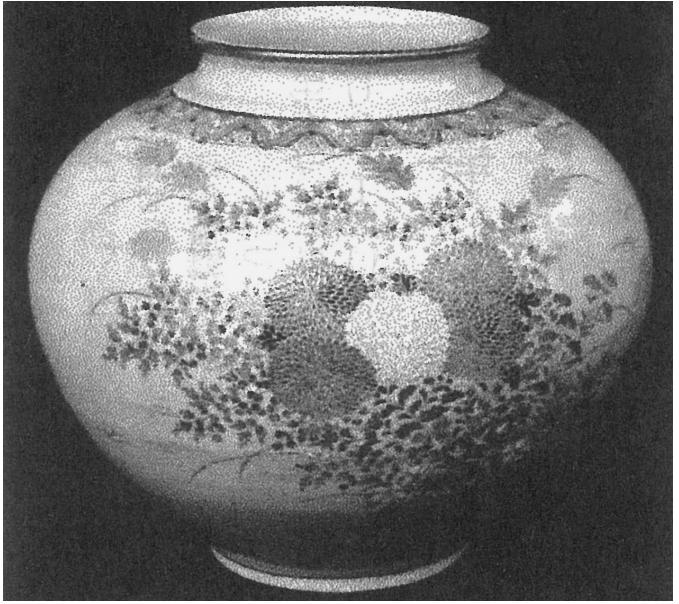
（1910〜45）には、この文集は偽作とされ「沙也可可」というシンボリックな開かれた際、来日した14代目の金在徳さんは「日本の支配時代は朝鮮総督府修史官の中村栄孝は朝鮮側の資料から沙也可の存在を証明、今日では疑問視する人は殆どいない。だが、沙也可を本名と考える人は少ない。「左衛門が訛った」「出自は紀州の雑賀衆」「実は日本の文獻にある岡本越後守」などの諸説があり、今もって定説にはいたっていない。

沙也可の子孫は現在15代目。かつて「再び、今なせ沙也可可」というシンボリックな開かれた際、来日した14代目の金在徳さんは「日本の支配時代は朝鮮総督府修史官の中村栄孝は朝鮮側の資料から沙也可の存在を証明、今日では疑問視する人は殆どいない。だが、沙也可を本名と考える人は少ない。「左衛門が訛った」「出自は紀州の雑賀衆」「実は日本の文獻にある岡本越後守」などの諸説があり、今もって定説にはいたっていない。

様々な生業を根付かせていたのである。中でも陶工たちは、陶器の原料を薩摩の山に求め、やがて「薩摩焼」を創出した。江戸時代、薩摩藩主の島津家は朝鮮人技術者たちを手厚く処遇、士分を与え、門構え、塀を廻らすことを許す代わり、その姓を変え、姓を禁じ、また言葉や習俗も朝鮮のそれを維持するように命じる独特の統治システムを作った。

しかし、後に薩摩置県や西南戦争（1877）、韓国併合（1910）など歴史の荒波に翻弄され、故なき差別に遭遇している。その苦難に遭遇している。そんな中でも歴代の沈寿官（襲名）たちは、欧米の万国博で何度も受賞し、国内外で高い評価を受けている。我が国の陶業の発展に多大な貢献をしてきた。

司馬遼太郎の小説「故郷」に「わが祖先は忘れたく候」の主人公のモデル大迫恵吉さん（14代目沈寿官）は、沙也可の子孫が住む友鹿洞を訪れた際、次のように語っている。



しろさつま そう か もん おお か びん
白薩摩草花文大花瓶（14代沈寿官作）

朝鮮人よ」という人は少ない。生に共通点が多いことに驚くことも、第二の故国になじんでいるその生き様に安堵感を覚えた。

小窓

今、この業界でも働き方改革といことが叫ばれ、様々な取り組みが企業、この業界ごとにおこなわれています。

いわゆる生産労働人口と呼ばれる20歳〜60歳の人口が全体の人口数よりも加速度的に減っている今、日本中で起きていることは人の奪い合いと言っても過言ではありません。労働者の奪い合い、消費者の奪い合い、もはや同業内でも奪い合っている状態ではなく、業種を超えた奪い合いがおこなわれているのです。

政府としては、その状況を改善すべく女性の労働参加を促進し、生産労働人口の減少に歯止めをかけるよう、そのために働き方改革を企業側に促進したいと思惑があります。それ以上当事者側の企業は危機感

「働き方改革について」

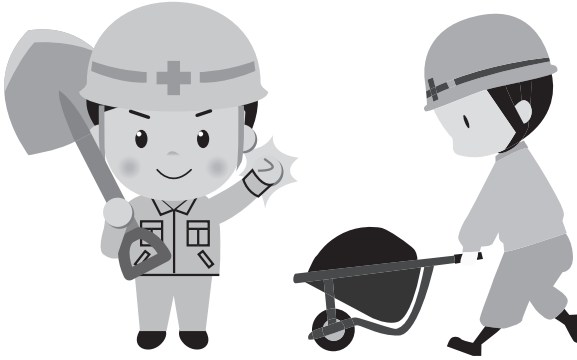
三建広報委員 河田亮一
加和太建設(株)

働き方改革といっても単なる意識改革ではなく、制た人にとっては、大きな変化ではないです。時間を使って来た人たちは、時間を使って経験・知識・人脈を構築して成功し、今もそのことが大事だと思いついてきている人たちがいます。

本来、企業が今まで最も信頼し大事にして来た人たちが、今回の変化が最も影響する人々なのです。言い換えれば、それほどの戦力に対しても変化を強いられることも厭わず改革をしなければならないという状況に、この国の構造は変化してしまつたといことなのです。

さて、建設業はどうでしょう。他の産業と同じように働き方改革が叫ばれる中、どれほどの変化が生まれているのでしょうか。

そもそも、建設業と一括りで産業としてまとめていますが、その中には多種多様な業種が存在し、働き方やそこにいる人たちの考えや立場が異なるので、正直難しいとは思いますが、ただ、冒頭でも説明したように、この取り組みが大事なものは、前の人



「けんせつ静岡」最新号へのリンク

静岡県建設業協会のホームページに「けんせつ静岡」最新秋号が掲載されています。

三建ホームページ（「三建だより」）のトップページからリンクできます。

けんせつ静岡

Public Information-Home page No.269 2017 AUTUMN

- ズームアップインタビュー
「築城から都市へ」
信濃県民力で築城された城へ、
松田の発展
静岡県のプロフェッショナル（坂本 文雄氏）
- わが街ウオッチング
「西園寺公望公 別邸「柳津別荘」」
出会いのひろば
「建設現場の第一歩」
静岡県建設業新人社員研修
ちょっと紹介
「建築について」
静岡県建設業新人社員研修
代表取締役顧問 坂本 文雄 氏
副代表 広報委員 河田 亮一 氏

※MENUへ戻る

静岡県建設業協会の広報ホームページによること

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号
◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応（JWNET,e-reverse,e-マニフェスト） 工場見学随時受付

TRANSYS セキトランスシステム
HP <http://www.sekitransys.co.jp>
本 社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL <055> 988-6868

廃棄物中間処理 セキト処理対応 破砕・圧縮・切断・溶融固化	管理型最終処分場 サーマルサイクル施設 焼却処分 埋立指定廃棄物に対応中	クレーン作業 クレーン
運輸・倉庫 家電リサイクル指定引取場所	テクパル 住宅設備機器販売 太陽光発電システム販売	

JIS工場からより良い製品をお届けします。
コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共
お願い致します。

（営業品目）

土木用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式 会社

青木コンクリート工業 株式 会社

菅 尾 工 業 株式 会社

営業品目

砕 石・割 栗 石
間 知 石・埋土工事

立岩石材(株)	伊 豆 市 船 原 (0558) 87-0831
二葉建設(株)	御 殿 場 市 新 橋 (0550) 82-2087
サ、キ工業(株)	伊 東 市 萩 城 の 平 (0557) 37-8587

伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

本 社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755
工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

(株)新光重機土木

